



日本共産党区議会議員清水菊美 こんにちは ニュース

連絡先 清水菊美事務所

090-3342-3001

2021年 9月5日

大田区内のコロナ感染状況 陽性者急増

区は在宅療養者の応急処置として、療養施設として大田区立青少年交流センター「ゆいっつ」提供 10部屋10人

区内の自宅療養者は8月24日時点で約2000人となり、のうち約30人が自宅で酸素投与などを受けつつ入院受け入れを待っている状況です。入院できるまでの間、区内医療期間から往診してもらい酸素投与等を実施しています。しかし自宅療養中に容態が悪化した場合は、救急隊による酸素投与

等を長時間にわたって実施せざるを得ない場合も生じています。看護師が常駐し、医療機関の協力の下の、区独自の療養施設の提供は、区民の安心につながるものです。



区立小中学校の2学期の対応について

感染防止対策を徹底しながら学校運用を開始する。

○9月第1週は給食ありの午前授業とする。

○登校に不安を感じている児童・生徒に対しては、自宅でのオンラインによる授業への参加ができるようにする(欠席扱いにはしない)。

感染が拡大した局面に備え学級・学年閉鎖への対応、分散登校や短縮授業など、あらゆるタイプを想定する。

○移動教室、修学旅行は延期する。

東糀谷区政報告会

「東糀谷をよくする会」の皆さんが、定例議会前後に区政報告会を、東糀谷防災公園多目的室で開催しています。

8月22日は藤田りょう子都議、医師の谷川智之さんも参加。

コロナ感染対策など質問・意見がたくさん出されました。参加された皆さんから大好評でした。



大田区 新型コロナウイルス感染者情報

THE NUMBER OF INFECTED COVID-19 in OTA CITY



8/31

陽性者数
(前日比)

159名
(+18名)

1週間平均
(8/25~8/31)

190.9名

累計

18,321名

東京都

2,909名

回復者数

13,114名

※部の発表数と異なる場合があります。ご了承ください。

大田区ホームページより

清水菊美区議 なんでも相談

毎週木曜日午後3時~5時
大森東4-34-17事務所
090-3342-3001

顧問弁護士による
法律相談 第4木曜日です。
電話にて予約をしてください。
(曜日や時間は調整できます。
お気軽に電話をください)

コロナから区民の命を守る 第18次 新型コロナウイルス感染症対策についての緊急要望

区内においてコロナウイルスの変異株デルタ株の感染は若い世代、子どもたちにも広がり、陽性者が急増しています。医療機関の状況も大変深刻で、入院が必要でも自

宅療養を余儀なくされ、区内では自宅に亡くなる方が出ており、区民の不安が広がっています。また、2学期を迎える児童生徒、保護者

にも学校運用に不安が広がっています。左記の緊急要望を区長、教育長あてに提出しました。

命と暮らしを守るため、国や東京都にも強く要請し、区独自の施策を進めるよう要望しました。

何としても感染拡大を止めて、



記

「原則自宅療養」の方針を撤回するよう国に求めるとともに、臨時の医療施設の増設を進め、症状におうじて必要な医療をすべての区民に提供できる体制を東京都とともに整備すること。

陽性者の保護・隔離を進めるためにも、無症状の陽性者は原則ホテル療養等、支援体制の強化を図ること。

東京五輪開催の強行が、国民への誤ったメッセージとなり、感染爆発を招いた反省にたつて、今からでもパラリンピックの中止を国、東京都、IPC に求めること。

PCR検査について

高齢者施設、障害者施設、保育園、学童、介護施設従事者等は1週間に1回程度、小中学校教職員と児童・生徒は1週間に2回程度のPCR検査を行うこと。

学校関係について

- ① 必要に応じて、オンライン授業だけでなく、分散登校など、保護者、児童・生徒が選択できるようにすること。
- ② 換気、消毒等の徹底をすること。教職員の負担を増やさないよう体制を整備すること。
- ③ 不織布マスクの装着を推奨し、学校で不織布マスクを提供できるようにすること。
- ④ 教職員のワクチン接種については、希望者全員に早く接種できるようにすること。

以上

行き届いた教育のため コロナ感染防止からも 少人数学級を急げ

文科省の説明会に清水菊美区議も参加しました。要望内容は①小学校の35人学級については5年かけて段階的に実施するのではなくより早期に実施を、②中学校・高校についても35人学級化を検討し、実施すべき③35人学級にとどまらず一層の少人数学級化を進めるべき、④少人数学級化を進めるにあたって教員や教室の確保に関する状況や課題、それらに必要な予算を確保すべき。

しかし、文科省の答弁は、前倒しについては「国会で決めたこと」。中学校・高校少人数化については、「検証をしていく」。予算については「自治体で努力していただきたい」などの答弁を繰り返して、進展はみられません。参加者からは「コロナ感染から子どもを守ってほしい、少人数学級実施は一刻の猶予もできない」と切実な声が次々あがりました。

